

ASBJ オープン・セミナーの開催

財務会計基準機構（FASF）では、平成30年7月25日に「ASBJ オープン・セミナー 収益認識に関する会計基準及び関連する法人税等の取扱いについて」を開催し、約700名の方にご参加いただきました。

本セミナーは、第1部と第2部で構成され、さらに第1部は、前半と後半に分けて説明が行われました。

第1部の「収益認識に関する会計基準」等の概要の説明の前半では、小賀坂敦企業会計基準委員会（ASBJ）副委員長及び収益認識専門委員会専門委員長から、平成30年3月30日に公表した企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」等の開発の経緯、適用時期・適用範囲、収益を認識するための5つのステップのそれぞれの概要等について説明が行われました。後半は、川西昌博 ASBJ ディレクターから、前半の説明で触れた、履行義務の識別、一定の期間にわたり充足される履行義務、ライセンスの供与等について、より詳細な説明が行われました。

続いて、第2部の「収益認識に関する会計基準」に対応した法人税基本通達の改正等については、国税庁課税部法人課税課課長補佐の高橋正朗氏から、収益認識会計の制定と平成30年度法人税法の改正、法人税基本通達の対応について説明が行われました。

ASBJ 及び FASF は、今後も、我が国における会計基準の開発の状況や、国際的な会計基準の開発に関する意見発信等についての最新情報を皆様を提供するため、ASBJ オープン・セミナーを適宜開催していく予定です。

